かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

eiicon

１４:００より開始します

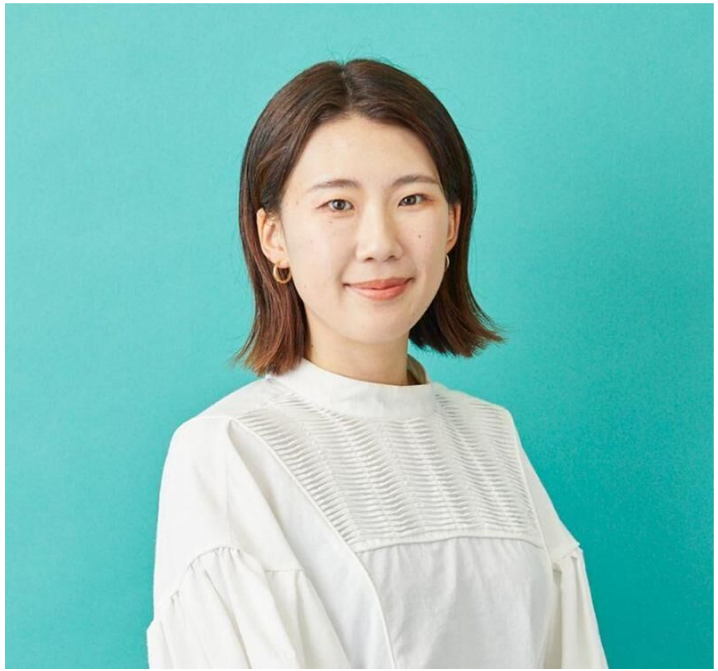
かながわ
SDGs
パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

OPENING

総合司会



eiicon

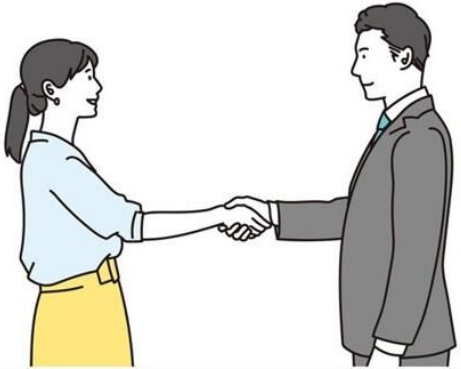
森 奏子

KANAKO MORI

株式会社eiicon
地域イノベーション推進部
マネージャー

早速ですが…

まずは**アイスブレイク**から！



アイスブレイク

左右のお隣の方（なるべく同じ企業・団体ではない人）とペアになり、
簡単な自己紹介＋この1年のSDGs活動 またはパートナーミーティングで
“特に印象に残っていること”について話してみましょう♪

主催・運営紹介

神奈川県
（政策局いのち・未来戦略本部室）

株式会社eiicon

本日のプログラム

14:00～	オープニング・令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告
14:20～	かながわSDGsパートナー共創ピッチ
15:30～	休憩
15:40～	共創実践者によるトークセッション
16:20～	ご案内・交流会

OPENING CONTENTS

令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告

相島 孝輝

神奈川県 政策局
いのち・未来戦略本部室
SDGs推進グループ

KANAGAWA SDGs PARTNER
神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

令和７年度かながわSDGsパートナー事業

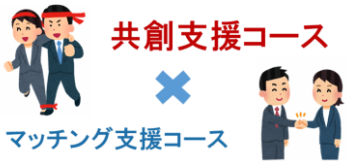
神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

2026.3.24

１．令和７年度パートナーミーティング

私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs未来都市　神奈川県

かながわSDGsパートナーミーティング

日　程	原則月１回定例開催
目　的	パートナーのSDGsに関連する取組の拡大
場　所	リアル又はオンラインで開催
内　容	１　ＳＤＧｓの取組拡大に関する**パートナー間マッチング**  テーマの設計支援 挑戦したい事業テーマを整理・可視化 マッチング支援 必要な技術・ノウハウ等を持った企業との繋ぎ マッチング後の伴走・フォロー 持続的な連携となるようブラッシュアップ ２　社会的課題解決に向けた情報交換等

令和７年度パートMTG年間参加者数（2026年3月23日時点）

参加者数

計 724 名

連携事例

・イベント・ワークショップの開催
・廃棄物のアップサイクル
・新商品の開発
など

期	テーマ	参加者
４月	事業説明会＆ＳＤＧｓ入門セミナー	141人
５月	本業とつながるSDGsワークショップ（リアル＆オンライン）	39人
６月	参考（中小企業診断協会主催セミナー）	―
７月	コラボレーションで実現する SDGs CROSS LABO @ KANAGAWA UNIV.	61人
９月	共創体験ワークショップ	43人
９月	かながわＳＤＧｓ ＡＣＴＩＯＮ！ 社会課題解決に挑戦する企業・団体を知ろう	44人
11月	地域資源を活かした循環型社会の作り方	66人
12月	人と組織を動かすSDGsコミュニケーション	58人
12月	多様な主体の共創による課題解決 ～困難を抱える子ども・若者等への支援～ ＜はまぎん・ミライを創るアクションプログラム共催＞	94人
２月	ＳＤＧｓ×共創で持続可能な社会をひらく ～リソースを活かしてつながろう～＜テクニカルショウヨコハマ2026併催＞	145人
３月	かながわＳＤＧｓ ＡＣＴＩＯＮ！ ～企業の課題解決にチャレンジしよう～	33人
３月	パートナーミーティング成果報告会 ～SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性～	○人

定例ミーティングの様子

５月パートナーMTG集合写真

９月パートナーMTGワークショップ

共創支援コース・マッチング支援コース

参加パートナー

3 者

14者

かながわSDGsパートナー2025について

かながわSDGsパートナーとは、神奈川県内でSDGsの取組等を実施している企業、団体等が登録する制度です。
今年は「パートナーミーティング」の開催に加え、“共創”による更なるSDGs活動の促進を目的に「共創コース」と「マッチングコース」を用意。SDGsの実現に向けて取り組むパートナー企業を全国から募集いたします。

専任コンサルタントによる伴走支援

事務局の専任コンサルタントが伴走し、マッチングから事業化・実証実験に向けたインキュベーション支援を実施。

SDGsパートナーのネットワーク提供

神奈川県内の約1,500者*が登録する「かながわSDGsパートナー」のネットワークを活かして活動をアシスト。

*2025年6月時点

情報発信サポート

プレスリリースのほか、県のホームページ等でも取り組みに関する情報発信を行い、広報活動をサポート。

URL：https://kanagawa-sdgs.eiicon.net/

【若者】かながわ SDGs ACTION!～社会課題解決に挑戦する企業・団体を知ろう～

日時
内容

令和7年9月17日（水）　13:00～16:30

セミナープログラム（第１部）13:00～14:25

基調講演、パネルディスカッション等

個別ブース（第２部）14:30～16:30

12の企業・団体及び神奈川県庁がブースを出展

目的

学生
・業種や業務内容だけではない、社会課題解決に取り組む企業・団体、働く人を知る・出会い場の提供

企業
・自社の社会課題解決の取組・魅力をアピールをすることができる

■登壇者

鈴木 雅剛 氏

BORDERLESS
SWITCH to HOPE

ボーダレス・ジャパン代表取締役COO

■講演内容

テーマ：何のために働くか。誰のための仕事か。

■登壇者（３者）

ボーダレス・ジャパン / 丸井グループ / ソフトバンク

■ディスカッション内容

テーマ：事業活動を通じた社会課題解決

【若者】かながわ SDGs ACTION!～企業の課題解決にチャレンジしよう～

日程／場所	Day1: 令和8年3月11日(水) 15:00～16:00　@　オンライン(ZOOM) Day2: 令和8年3月19日(木) 14:00～17:00　@　関東学院大学 横浜・関内キャンパス	
目　的	○企業・団体の取組や課題を知り、実際に課題解決に向けてワークショップを実施することで 社会課題解決の手法を学ぶことができる ○自社の課題に対して、若い世代のアイデアを聞くことができる	
内　容	Day1: オンライン(ZOOM) ・企業／若者団体それぞれの取組紹介 ・企業課題の紹介	Day2: 関東学院大学 横浜・関内キャンパス(対面) ・課題解決ワークショップ ・交流会
昨年度の様子		

【共助】はまぎん・ミライを創るアクションプログラム

日　時	2025年12月23日（火）14:00～16:00
場　所	はまぎんホール　ヴィアマーレ（横浜市西区みなとみらい３-１-１）
テーマ	多様な主体の共創による課題解決 ～困難を抱える子ども・若者等への支援～
目　的	ヤングケアラー・ひとり親家庭などの多様な背景や、障がい等の特性のある子ども・若者の社会参画に向けた取り組み及び雇用事例を共有し、多様な個性を生かす企業経営のきっかけを作る。
主催／共催	主催：神奈川県　共催：横浜銀行 ※ミライを創るアクションプログラムに関することは浜銀主催
参 加 者	かながわSDGsパートナー、助成金支給団体（NPO）、かながわつながりNW会員
内　容	第一部　助成金授与式・基調講演 ・〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラム助成金授与式 ・支給団体紹介（10者） ・基調講演（NPO法人パノラマ　鈴木 晶子 理事） 第二部　交流会 ・パートナーの取組紹介 （有）川田製作所、（株）ファンケル、（一社）MilkyWay ・交流会

２月パートナーＭＴＧ（かながわみんなのSDGs表彰式併催）

日　時	令和8年2月5日(木) 10:30～16:20
場　所	パシフィコ横浜　展示会場内特設セミナー会場
テーマ	SDGs×共創で持続可能な社会をひらく ～リソースを活かしてつながろう～
目　的	パートナー企業・団体と県内企業の交流促進及び新たな出会いの創出
内　容	第一部　講演・トークセッション ・基調講演 元ラグビー日本代表キャプテン ／株式会社HiRAKU 代表取締役　廣瀬 俊朗様 ・トークセッション 廣瀬 俊朗様 株式会社川崎フロンターレ 事業本部　黒木 透様 HI合同会社 代表　平原 依文様 第二部　表彰式（6事例）＆受賞事例紹介 ・みんなのＳＤＧｓ賞 ・連携賞 ・中小企業診断協会賞 第三部　ピッチ（4者）＆交流会

かながわみんなのSDGs（表彰制度）

かながわ みんなのSDGs You can do it!

概要	SDGsの取組を進めている又はこれから取り組もうという企業・団体等に対し、 ヒントとなる事例を「見える化」することで、 SDGsの取組拡大を後押しするため パートナーからSDGsに関する取組を募集する。
対象	かながわSDGsパートナー（パートナー登録申込と同時にお申し込み可）
募集期間	令和7年9月16日(火) ～ 令和7年11月15日(土)
表彰の種類	自社・自団体（単独）の取組 (1) みんなのSDGs賞　パートナーによる投票 (2) 神奈川県中小企業診断協会賞　中小企業診断士の知見から社会課題への貢献度を評価 2者以上のパートナーによる連携の取組 (3) みんなのSDGs連携賞　有識者等による審査
投票期間	令和7年12月10日（水）～令和8年1月9日（金）
広報	県HPやプレスリリース、リーフレットなどを通じて多くの方に参考にしていただく

みんなのＳＤＧｓ（みんなのＳＤＧｓ賞）

みんなのSDGs賞

企業規模：NPO／**業種**：福祉団体／**地域**：全域

「だれもが楽しめる社会へ」
― 病気や障がいのある子どもたちに体験の輪を広げる ―（NPO法人AYA）

取組の概要

「病気や障がいがあることを理由に、文化的・社会的体験をあきらめなくてよい社会の実現」を目指し、スポーツ・芸術・文化の各領域で、子どもたちとそのご家族に向けた体験型イベントを開催。映画上映会、スポーツ観戦会、音楽鑑賞会、プラネタリウム鑑賞会など、誰もが参加できる**インクルーシブな社会づくりを推進している。**

該当するSDGs目標
（３つまで）

取組を始めた動機・課題

病気や障がいを抱える子どもたちとその家族の体験機会は構造的に限られている。公共施設やイベント会場の**環境面や配慮の不足**、理解不足から、「体験の格差」という**社会的不平等**が生じている。この**不平等**を解消し、「病気や障がいを理由に体験をあきらめなくてよい社会の実現」を目的として、本取組を開始。

解決に向けた具体策と成果

医療的ケアへの対応、家族全員での参加設計、専門職の帯同、安全・安心への配慮といったAYA独自の体制を組み込み、**誰もが安心して楽しめる「体験機会」を創出。**

取組による定量的な効果

・来場者数：2023年度延べ 312人 → **2024年度延べ 1,334人**
・ボランティア数：2023年度 延べ61人 → **2024年度 延べ227人**

取組のポイント

神奈川県・市・教育委員会の後援のもと、企業・ボランティアとの連携により、**持続可能な共創モデルを構築。**

みんなのＳＤＧｓ（みんなのＳＤＧｓ賞）

みんなのSDGs賞

企業規模：中小企業／**業種**：製造業／**地域**：県西地域

「作る技術から、治す技術へ」（有限会社津田製作所）

取組の概要

プリント基板の製造を長年続ける中で、メーカーのサービス終了や老朽化により困っているお客様の声に応え、5年ほど前にメンテナンス事業を立ち上げました。今では売上の半分を占める事業となり、廃棄されるはずだった基板を修理・再生することで、資源保護と廃棄物削減に貢献しています。

該当するSDGs目標
（３つまで）

取組を始めた動機・課題

基板の老朽化により、製品の維持が困難になるお客様の声が増加。実は“作るだけでなく、治す力も持っていた”技術者たちの知見を活かし、メンテナンス事業を立ち上げた。技術者の技術力は十分に備わっていたが、社内体制や設備面に課題があり、補助金などを活用して測定器を導入したり、修理体制の強化に取り組んだ。

解決に向けた具体策と成果

技術者の知見を活かし、精度の高い診断と修理を実現した。廃棄予定だった基板の延命を可能にし、現在ではメンテナンス事業が全社売上の約半分を占めている。

取組による定量的な効果

従業員数：2020年4月49名➡2025年4月67名【18名増員】
売上：2020年約3.7千万円➡2025年約6.3千万円【170％UP】

取組のポイント

“作る技術”から“治す技術”への転換・・・製造中心だった体制を見直し、技術者の力を活かして修理・再生にシフト。

みんなのＳＤＧｓ（中小企業診断協会賞）

神奈川県中小企業診断協会賞

企業規模：中小企業／**業種**：業務用食品卸／**地域**：全域

食品配送から始めるSDGs（東京中央食品株式会社）

取組の概要

① **プラスチック袋年間37万枚（約6t）の削減**
配送コンテナに使用していたビニール袋をお客様の協力を得て全量廃止。強アルカリ電解水による洗浄で衛生面を担保。

② **配送時の保冷用のドライアイス（年間使用量216t）を全廃**
保冷方法をドライアイスから、使い回し可能な高機能保冷剤に変更し、配送品質を上げつつ自社排出のGHG削減を実現

該当するSDGs目標（３つまで）

取組を始めた動機・課題

- 当社は病院・高齢者施設・保育園等のお客様に毎日約100台の車で「食」をご提供する1954年創業の総合食品卸です。
- 衛生的な配送の為のプラスチック袋、保冷の為のドライアイスを創業以来当たり前のように使用してきましたが、その環境負荷の大きさに気づき、配送品質は落とさずにSDGsに資する新たな手法の構築に向け、試行錯誤を繰り返しました。

解決に向けた具体策と成果

- プラ袋廃止後も衛生的な配送を行う為、自社工場で生成する安心・安全な強アルカリ電解水での洗浄を取り入れました。
- ドライアイス以上の効果の保冷剤を発見。食品冷凍庫で凍結させる流れを構築し、追加電力等も発生していません。

取組による定量的な効果

- プラスチック袋37万枚（約6t）、ドライアイス216t（※）の削減

※杉の木およそ15,429本分の二酸化炭素年間吸収量に相当

取組のポイント

- 自社の今までの当たり前に疑問の目を向けてカイゼンする
- SDGsは「品質低下」や「我慢」と必ずしもイコールではない

みんなのＳＤＧｓ（中小企業診断協会賞）

神奈川県中小企業診断協会賞

企業規模：中小企業／**業種**：製造業／**地域**：県央地域

「地域資源を灯すオガチャッカ ～障がい者と創る循環型社会～」
（株式会社ネットフィールド）

取組の概要

廃ロウソクとおが屑を再利用した着火剤「オガチャッカ」。障害者就労支援と資源循環を目的とした地域発のアップサイクル製品の開発・製造で**障がい者が社会に貢献できる仕組み**と賃金向上の仕組みをつくった。

該当するSDGs目標
（３つまで）

取組を始めた動機・課題

以前から就労支援施設へ商品の製造などを依頼してきたが障がい者の作業効率などの問題などもあり結果的に低い賃金になった。また普段障がい者が行う仕事は単純作業で内職と同様な賃金で作業していることから**働き甲斐と収入面を改善したかった**から。

解決に向けた具体策と成果

おが屑と廃ロウソクを再利用した「オガチャッカ」を開発し、**障がい者が製造から販売まで担う仕組みを構築**。働きがいと**地域循環型の環境配慮型**ビジネスを実現しました。

取組による定量的な効果

年間約200kgの廃ロウソクと約600ﾘｯﾄﾙのおが屑を**再資源化**。売り上げの**85%を施設へ還元**。

取組のポイント

社会課題の解決は**“善意”ではなく“仕組み”**で。環境資源の循環と障がい者の働きがいを両立する持続可能なモデルへ

みんなのＳＤＧｓ（連携賞）

みんなのSDGs連携賞

児童養護施設の子ども達へキャリア教育の機会を提供

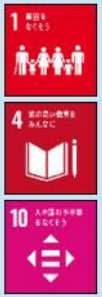
（NPO法人フェアスタートサポート×有限会社グリーンフーズあつみ）

取組の概要

児童養護施設で生活をしている高校生2名に**質の高いキャリア教育の機会を提供**することができた。

児童養護施設の子ども達にキャリア教育の機会を提供できる当団体と、子ども達の職場見学受入れ等を積極的に担われているグリーンフーズあつみ様との連携により実現。

該当するSDGs目標（３つまで）



取組を始めた動機・課題

児童養護施設出身者達は、施設で生活をしている頃に**キャリア教育の機会が不足**していることなどが理由で、質の低い就職活動を行いやすく、結果的に**ミスマッチによる早期離職が多発**。離職を機にワーキングプアへ移行しやすく、貴重な若者達に**貧困の連鎖**が起きている。

解決に向けた具体策と成果

小中高生の頃に様々な職業に触れることで視野が広がり、はたらくイメージも具体化し、進路選択の質が高まる。

取組による定量的な効果

キャリア教育に恵まれた子ども達は**早期離職率が低下**する。

当団体の実績：**就職後1年内離職率19%（業界平均値43%）**

連携のポイント

連携を通じて、どのような社会課題を解決し、地域や次世代に貢献したいのかを双方合意しておくことが大切。

みんなのＳＤＧｓ（連携賞）

みんなのSDGs連携賞

不要な衣料品回収イベント
（株式会社BPLab×一般社団法人F・マリノススポーツクラブ）

取組の概要

2023年、かながわSDGsパートナーミーティングにて出会い、不要になった衣料品を再利用・再資源化する取組を連携して行った。横浜F・マリノスが日産スタジアムのホームゲームにて衣料品を回収。回収した衣料品をBPLabがリユースし、リユースできないものは繊維の種類ごとに分けて、横浜F・マリノスが新たな衣料品や雑貨に生まれ変わらせた。

取組を始めた動機・課題

ユニフォームなど思い出があるけれど、不要になったものを捨てるのではなく、循環させて新しい形に変えられればというファン、サポーターの思いを形にし、ともに衣料品廃棄の社会問題を解決するために始めた取組です。

該当するSDGs目標
（３つまで）

解決に向けた具体策と成果

回収した衣料品を再資源化して、そこからの原料を使った新たな衣料品や雑貨を作り、販売しています。
今では横浜F・マリノスの公式グッズとして提供できるところまできました。

取組による定量的な効果

半年間で、衣料品 約600kgの回収をしてリサイクルしました。（年間約1.2トン）

連携のポイント

衣料品の廃棄の社会課題を、スポーツの応援を通して、衣料品回収→循環商品購買によって解決をする取り組み

２．　Beyond SDGs と Vibrant INOCHI

私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市　神奈川県

ＳＤＧｓの今後

ポストSDGsに向けた今後のスケジュール感

2023年9月18日・19日　SDGサミット（第2回）

2023年12月19日「SDGs実施指針改定」

多様なステークホルダーによる
ルール形成への参画
国連、EU等による組織化・利活用

2024年9月　国連未来サミット

2025年7月　我が国の自発的国家レビュー（VNR）（第3回）

個別分野の
ルール形成
の交渉

ポストSDGs
に向けた
主導権争い

2027年9月？　SDGサミット（第3回）

ポストSDGsの検討の正式開始？

2030年　**G7議長国**

2030年？　ポストSDGsの採択？

（出典：外務省）

ＳＤＧｓとVibrant INOCHIの関係

2030年までに目指すべき社会

SDGs

Social (National) wellbeing

2030年以降の目指すべき社会

ビヨンド（パラ）SDGs

Beyond-SDGs

Social (National) wellbeing ＋ Personal wellbeing

SDGsは地球全体を宇宙から見ているイメージ

・Vibrant INOCHIは、地球上に暮らす一人ひとりの目線からの概念
・限りあるいのちだからこそ輝かせるべきだとする考え方

黒岩知事

＝ 軌を一にする

神奈川県の考え方

一人ひとりのいのちが輝く「Vibrant INOCHI」

▶ ビヨンドSDGsと軌を一にする「Vibrant INOCHI」を積極的に発信する

“INOCHI”

いのち輝く
Vibrant
INOCHI
ウェル
ビーイング
Well-
being
健康長寿
Healthy
Longevity
Positive
Spirit
前向きな
気持ち
Full of
Laughter
笑い
あふれる
Purpose
in Life
生きがい
Good
Community
&Environment
素晴らしい
コミュニティと環境
DIVERSITY
多様性

ビヨンドＳＤＧｓ官民会議

私たちが、真に豊かな未来を実現するために、
足りないものはなんだろう?
BEYOND!
for beyond SDGs

蟹江 憲史
慶應義塾大学大学院教授

概要

- **2030年以降の新たな国際目標に向け**、日本国内の多様な主体が連携し、実践に基づいた提言を集約・発信する**官民連携プラットフォーム**
- SDGsの成果・課題を、**国連の議論が始まる2027年9月に政府を通じ国連へ提言を行う。**
- **ジャパンＳＤＧｓアクション推進協議会の委員会との位置付け（規則第７条）**

メンバー・事務局

- 発起人：蟹江 憲史 慶應義塾大学大学院教授
- 事務局：慶應義塾大学
- メンバー：ジャパンSDGsアクション推進協議会員等、国内の主要ステークホルダーが参画

取組

- **実施期間：2025年～2027年秋（３年間）**
- 年２～３回程度の市民会議を開催し、実践に基づく提言を日本から世界へ発信

2025年9月第１回、2026年２月にビヨンドSDGs官民会議を開催。
以降、全国で議論を展開。

ビヨンドＳＤＧｓ官民会議理事会　名簿

理事長	蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
理事	高橋 慶太	外務省国際協力局地球規模課題総括課長
	宇田川 徹	内閣府地方創生推進事務局参事官
	高岡 文訓	金融庁総合政策局総合政策課サステナブルファイナンス推進室長
	黒部 一隆	環境省大臣官房総合政策課環境計画室長
	市川 紀幸	経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長
	長谷川 知子	一般社団法人日本経済団体連合会常務理事
	樋口 麻紀子	公益社団法人経済同友会政策調査部長
	有馬 利男	一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
	三輪 敦子	一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事
	大貫 萌子	SDGs-SWY共同代表
	山口 凜	持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム事務局長
	近藤 英里奈	G7/G20 Youth Japanメンバー
	藏並 豊綱	神奈川県政策局企画連携・SDGs推進担当課長
	山内 哲也	大阪府政策企画部企画室連携課長
	井口 雄大	株式会社博報堂クリエイティブディレクター
事務局長	川廷 昌弘	慶應義塾大学特任教授

私たちが、真に豊かな未来を実現するために、
足りないものはなんだろう?

BEYOND!
for beyond SDGs

今年度のご参加ありがとうございました。
来年度も引き続きよろしくお願いいたします！

私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市　神奈川県

主催・運営紹介

神奈川県
（政策局いのち・未来戦略本部室）

株式会社eiicon

運営：eiiconの紹介

eiiconはオープンイノベーションで
企業が自立的に事業創出できる基盤をつくる会社です。

オープンイノベーションを社会にインストールする

運営：eiiconの紹介

会社名	株式会社eiicon(エイコン)
代表取締役	中村 亜由子
設立	2017年2月、法人化：2023年4月
従業員数	133名 （役員・正社員・契約社員等/2024.10現在）

2023年4月パーソルグループからMBO。
新たに株式会社eiiconを設立。

受賞歴

2023/9/8
週刊東洋経済「すごいベンチャー100」2023年最新版 に 「経営管理」カテゴリにて選出

プラットフォーム事業にて
日本サービス大賞 優秀賞を受賞

エンタープライズ事業にて
日本オープンイノベーション大賞
を受賞

運営：eiiconの紹介

令和7年度は、パートナーミーティングの企画運営や
共創プロジェクトの個別伴走支援などを実施させていただきました！

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

本日のイベントのテーマ

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

本日のプログラム

14:00～	オープニング・令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告
14:20～	かながわSDGsパートナー共創ピッチ
15:30～	休憩
15:40～	共創実践者によるトークセッション
16:20～	ご案内・交流会

共創プログラム参画企業
×共創パートナーによる
成果報告ピッチ

SDGsの実現につながる新たなビジネスの創出を目指す

かながわSDGsパートナー2025

共創プログラム

supported by eiicon

SDGs×オープンイノベーション

神奈川から、共創で生み出す次のSDGsビジネス

共創プログラムについて

01

つくる責任、つかう責任

地場素材×ブランド豚で挑む、サステナブルな商品共創

株式会社フリーデン

02

つくる責任、つかう責任

身の回りの素材が循環する社会を実現

舞岡フォーム株式会社

03

産業と技術革新の基盤を作ろう

清掃の枠を越えて、快適性SDGsを叶える空間サービスを共に創る

和光産業株式会社

共創プログラムについて

**共創プログラムでは、自者の既存の技術やアセットを活かした
新たなSDGsビジネスの創出に向けて、
テーマ設計～パートナー募集～インキュベーションを行ってまいりました。**

SDGsビジネス
テーマの設計

共創パートナーの
募集・マッチング

マッチング後の事業化に
向けたインキュベーション

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【前半】

共創プログラム参画企業3社 × それぞれ選ばれた共創パートナーによる
成果報告ピッチをお届けします！

和光産業株式会社
×株式会社シーエヌアーツ

株式会社フリーデン
×合同会社グロバース

舞岡フォーム株式会社
×株式会社リサイクルテクノロジーズ

登壇者への質問や応援コメントを受け付けます！！

slido

匿名での投稿が
可能です！

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【前半】

01 和光産業株式会社
×株式会社シーエヌアーツ

02 舞岡フォーム株式会社
×株式会社リサイクルテクノロジーズ

03 株式会社フリーデン
×合同会社グロバース

質問はこちら

01 和光産業株式会社 ×株式会社シーエヌアーツ

『共創による新サービスへの挑戦』

質問は
こちら

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【前半】

01 和光産業株式会社
×株式会社シーエヌアーツ

02 舞岡フォーム株式会社
×株式会社リサイクルテクノロジーズ

03 株式会社フリーデン
×合同会社グロバース

質問は
こちら

02 舞岡フォーム株式会社 ×株式会社リサイクルテクノロジーズ

【衣類循環×学校教育】学校を起点とした衣類の地域循環プロジェクト

質問はこちら

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【前半】

01 和光産業株式会社
×株式会社シーエヌアーツ

02 舞岡フォーム株式会社
×株式会社リサイクルテクノロジーズ

03 株式会社フリーデン
×合同会社グロバース

質問はこちら

03 株式会社フリーデン ×合同会社グロバース

『地場素材×ブランド豚で挑む、サステナブルな商品開発の挑戦！』

質問はこちら

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

かながわSDGsパートナー
連携による共創ピッチ

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【後半】

かながわSDGsパートナー同士でマッチングし、
現在進行形で連携に取り組んでいるプロジェクトによる
共創ピッチをお届けします！

**株式会社MURONE
×JA横浜**

**セカンドリーグ神奈川
×東京中央食品株式会社**

**株式会社BPLab
×舞岡フォーム株式会社**

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【後半】

01 株式会社MURONE
×JA横浜

02 株式会社BPLab
×舞岡フォーム株式会社

03 セカンドリーグ神奈川
×東京中央食品株式会社

質問は
こちら

01 株式会社MURONE ×JA横浜

JA横浜とMURONEの共創（ともづくり）

質問はこちら

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【後半】

01 株式会社MURONE
×JA横浜

02 株式会社BPLab
×舞岡フォーム株式会社

03 セカンドリーグ神奈川
×東京中央食品株式会社

質問は
こちら

02 株式会社BPLab ×舞岡フォーム株式会社

複合素材廃棄を“循環素材”に変えるプロジェクト

質問はこちら

かながわSDGsパートナー共創ピッチ【後半】

01 株式会社MURONE
×JA横浜

02 株式会社BPLab
×舞岡フォーム株式会社

03 セカンドリーグ神奈川
×東京中央食品株式会社

質問は
こちら

03 セカンドリーグ神奈川 ×東京中央食品株式会社

食品ロス削減と子ども食堂支援の共創事業

質問はこちら

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

本日のプログラム

14:00～	オープニング・令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告
14:20～	かながわSDGsパートナー共創ピッチ
15:35～	休憩
15:45～	共創実践者によるトークセッション
16:20～	ご案内・交流会

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

本日のプログラム

14:00～	オープニング・令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告
14:20～	かながわSDGsパートナー共創ピッチ
15:30～	休憩
15:40～	共創実践者によるトークセッション
16:20～	ご案内・交流会

トークセッション

実践者にきく！

SDGs×共創の可能性

トークセッション：SDGsを起点にした共創の可能性 ― 本業につながるSDGsの共創とは ―

MODERATOR
岩根 隼人

株式会社eiicon
地域イノベーション推進部

安西 哲哉様

株式会社フリーデン
社長室 参与

西村 崇様

舞岡フォーム株式会社
代表取締役

金子 康一様

和光産業株式会社
横浜支店 支店長

自己紹介とプロジェクト推進体制について

これまでのSDGs活動の取組と
その課題について

共創支援コースに参加した理由と期待していた点について

実際に他社とSDGs活動の取組を進めてみてどうだったか？

進める中で感じた難しさ・苦労した点とその乗り越え方について

今回の取り組みから得られた気づきと今後の可能性について

会場へのメッセージ

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性

本日のプログラム

14:00～	オープニング・令和7年度かながわSDGsパートナー活動報告
14:20～	かながわSDGsパートナー共創ピッチ
15:30～	休憩
15:40～	共創実践者によるトークセッション
16:20～	ご案内・交流会

神奈川県中小企業診断協会より

ご案内

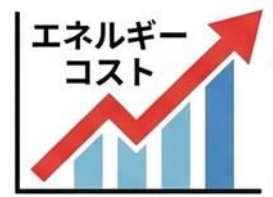
省エネ支援のご案内

省エネに安心して取り組めるよう、省エネに向けた最初の一歩を支援します

２０２６年３月２４日（火）
一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会
公益推進部 SDGsプロジェクト Bチーム
（環境）

こんなお悩みありませんか？

光熱費の高騰



コストUP

利益圧迫

エネルギーコストが年々上昇し、
利益を圧迫している

何から始めれば？

省エネに取り組みたいが
どこから手をつけていいかわか
らない

資金繰りの不安

資金繰り計画表（設備投資検討）

項目	4月	5月	6月
【期首残高】	80,000	100,000	140,000
【営業収支】			
売上入金	100,000	200,000	200,000
仕入支出	(130,000	(130,000	(190,000
人件費	25,000	25,000	25,000
諸経費	25,000	25,000	25,000
（営業収支計）	108,000	158,000	(158,000
【投資収支】		新型機械導入（補助金活用検討中）	
設備投資（5月に大きく）	(160,000	500,000	(160,000
（投資収支計）	(163,000	280,000	(163,000
【財務収支】			
借入入金	20,000		20,000
補助金入金（未定）		?	?
借入返済	15		
（財務収支計）			
【期末残高】			

大丈夫かな・・・

設備投資をしたいが、
補助金等の活用法がわからない

私たちが、省エネ計画の策定を支援します

専門家による伴走型 5ステップ支援

支援の流れ（例）

支援の特長

- **中小企業診断士が複数回訪問し伴走支援**
  単発の相談ではなく、現状把握から計画策定まで一貫してサポート
- **補助金や各種制度の活用など包括的に提案**
  設備投資の費用対効果や回収期間のシミュレーションも実施
- **実質自己負担なしでご利用可能**
  KIP「未病改善アドバイザー派遣」のご利用＋SDGsパートナー登録が条件

参考事例（年間コスト削減例）

約881万円/年のコスト削減*1

プラスチック製品製造業｜蒸気駆動型コンプレッサー導入

電気代 月2万円削減*2

金属加工業｜太陽光設備＋LED照明への切替

※事例の効果は個体差があります。
*1：出典　環境省「令和6年度SHIFT事業事例集」事例5（https://shift.env.go.jp/files/navi/precedent/2024casestudy_shift.pdf）
*2：出典　公益財団法人神奈川県産業振興センターカーボンニュートラル支援取組事例（https://www.kipc.or.jp/CNsupport/case/case01.html）

まずはお気軽にご相談ください

※画像はイメージです

個社支援

5つのステップに基づき、
貴社の現状に沿ったご支援を行います。

募集枠に限りがあります
締切：4月10日まで

※画像はイメージです

セミナー

まずは情報収集から始めたい方へ。お気軽にご参加ください。
※個社セミナーのご要望がありましたらご相談ください。

SDGsセミナー開催予定
開催日：6月12日

一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会　公益推進部 SDGsプロジェクト
〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川県中小企業センタービル12階
ksdgs@sindan-k.com

令和8年度
かながわSDGsパートナー
ミーティングのご案内

次回告知

令和8年度の第1回パートナーミーティングは、

4月22日（水）14:00～にオンラインにて開催します！

詳細は近日中にメールにてお知らせいたします📣

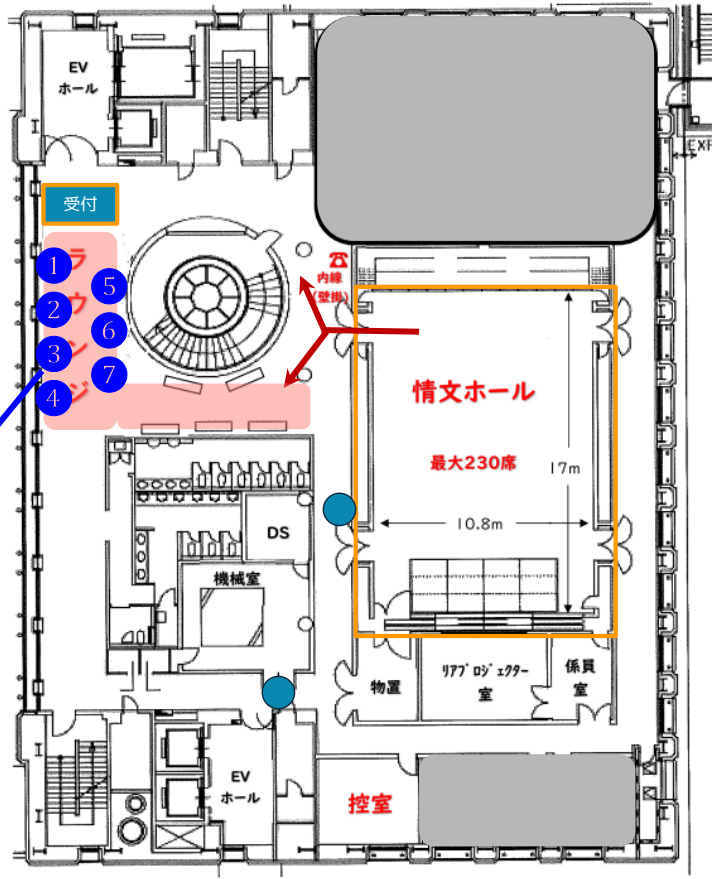
閉会の挨拶

増田 勇樹子

神奈川県 政策局
いのち・未来戦略本部室
室長代理（企業連携・SDGs推進担当）
兼グループリーダー

交流会について

こちらのエリア内で
交流をお願いします！



登壇者出展ブース

1. 和光産業×シーエヌアーツ
2. 舞岡フォーム×リサイクルテクノロジーズ
3. フリーデン×グロバース
4. 神奈川県中小企業診断協会
5. MURONE×JA横浜
6. BPlab×舞岡フォーム
7. セカンドリーグ神奈川×東京中央食品

ご案内

近くの会場「THE LIVE Supported by 大和地所」にて、
神奈川県主催のスタートアップピッチイベントを開催中です。
18:45まで開催しているので、この機会に是非ご参加ください！

集合写真撮影

ステージをバックに全員で撮影した後、

登壇者のみステージ上に集まって撮影します！

交流会後、ご退館前に
参加者アンケートの
ご協力をお願いいたします

本日はご参加誠にありがとうございました！

かながわ

SDGs

パートナーミーティング

成果報告会

SDGsの連携事例から学ぶ共創の可能性